

1 施策の状況

R 6 時点作成(R 5 実績)

施策名	施策項目○	所管課	○○○○○課
施策の方向性(要約)	現行：取組の小柱に対応した課題・現状を要約して記載。国の動向に合わせ表現を具体にするなど見直し 今回：計画4章「施策の方向性」を記載。計画期間中は記載を修正しない		
前年度の状況	総合評価	評価年度（令和5年度）の取組【P】	
	順調	前年度(R 5)の調書の「5 総合評価を踏まえた次年度の取組【A】」をコピー	

2 定量評価

← 現行同様、全ての指標を評価

指標	基準値	目標値(上段)					達成率	点数	出典 (調査機関) 調査期日	分析(令和5年度の主な取組と成果)【D・C】
		実績値(下段)								
		R5	R6	R7	R8	R9				
							100.0%	4点		・新設。道の基本評価調書と同様 ・指標の【A】に当たる部分は、「5 総合評価を踏まえた次年度の取組【A】」で整理
							100.0%	4点		
							100.0%	4点		③
										④
										⑤

評価年度は太枠

評価方法見直し ※詳細別添

現行調書にある「指標の対象」は削除

3 定性評価

取組の柱	← 全ての取組の小柱を評価			点数	1 点
令和5年度の主な取組【P】	取組の実績【D】	取組の成果と課題【C】	進捗状況		
現行：【A】まで記載 改正：「5 総合評価を踏まえて次年度の取組【A】」で整理			→ 小柱ごとに進捗状況がわかるように記載 （点数付けの理由がわかるように記載）		

取組の柱				点数	1 点
令和5年度の主な取組【P】	取組の実績【D】	取組の成果と課題【C】	進捗状況		

取組の柱				点数	1 点
令和5年度の主な取組【P】	取組の実績【D】	取組の成果と課題【C】	進捗状況		

4 総合評価

← 評価方法見直し ※詳細別添

定量評価の判定 (各指標平均点) [ア]	定性評価の判定[イ]	合計点[ア+イ]	→	総合評価
4.0	1.0	5.0		順調

5 総合評価を踏まえた次年度の取組【A】

- ・新設。施策項目全体としての【A】（※次年度の【P】となることを踏まえて整理）
- ・ただし、その内容は、
 - ①定量評価の【A】と定性評価の【A】を整理
 - ②上記のほか、施策としての大きな視点に立った場合の【A】を記載することとし、定量評価・定性評価それぞれの【A】を兼ねる位置付けで整理